



「ありがとう」に気づける子に

4月8日の入学式から1週間余りたち、それぞれの学級もおおむね軌道に乗り始めました。入学式の際に1年生への式辞の中で話したのですが、子どもたちに第一にお願いしたのは元気に登校してくれることです。110名全員の元気な顔が見られることが、まずはとてもうれしいです。

式辞の中でもう一つ話したのは、『「ありがとう。」をたくさん言える子になってください。』ということでした。9日の始業式では、全校の子どもたちに「ありがとう」の続きのお話をしました。



女の子がほ
うきで掃き掃
除をしている
ところへ、男
の子がちりと
りを持ってき
てくれました。

「親切な行動ができた男の子、きちんとお礼を言えた女の子。どちらがより〇が大きいですか？」と子どもたちに尋ねました。選択肢は、「男の子」「女の子」「どちらも同じくらい」です。私は3：1：6ぐらいの割合になるかなと思っていました。でも、子どもたちはほぼ全員「同じくらい」に手を挙げました。「ありがとう」の話だと言って話をしているからかもしれませんが、「ありがとう。」と言うことの大切さを感じているのだなとうれしくなりました。

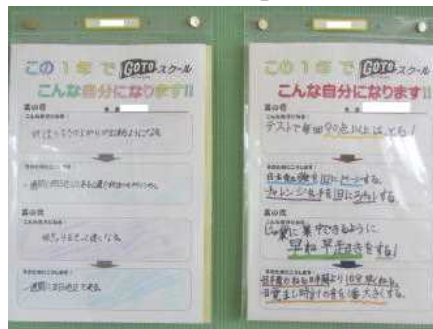
親切な行動ができた男の子はもちろん〇ですが、お礼をいう場面だということに気づき、ちゃんとお礼を言えた女の子は男の子と同じくらい〇だということを話し、「教室や学校の中で、たくさん『ありがとう』を探してくださいね。」とお願いしました。

「ひょうご」の「ひ」は、「人にやさしく」の「ひ」です。やさしい言動は、それに気づき、お礼の言葉を言ってもらえることでさらに増えていくと思います。そうすれば昨年度何度も子どもたちに話してきた「しあわせのバケツ」はしあわせでいっぱいになっていくでしょう。そんな兵庫小学校になるよう努力してまいります。

どんな自分になりたいか

3月の修了式や1学期の始業式には、「4月からどんな自分になりたいかを考えて、めあてを決めてください。」という話もしていました。

さっそく5年生の教室には、一人一人が考えためあてが貼ってありました。「こんな自分になる」「そのためにこうします」という形式



で書かれていました。どの子どもがとも内容が具体的で、よく考えて書いていることがわかりました。

低学年にはこの書き方は難しいと思います。2年生のめあては、「どうぞよろしく」という

自己紹介の形式の中に、がんばりたいことが書いてありました。自分の得意なことを生かしてがんばりたいことを書いている子、苦手なことを克服したいという思いで書いている子、どちらもとてもよいめあてができていました。

コロナ関連の学校連絡のお願い

今までもお願いしていましたが、新年度になりましたので、改めて新型コロナウイルス感染症に関し、次の場合学校へ連絡していただくようお願いいたします。

- お子様やご家族の感染、濃厚接触が判明した場合。
- 濃厚接触にはあたらないが、お子様がPCR検査を受けた場合。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱、倦怠感等お子様の体調がすぐれない場合は、無理に登校せずご家庭で静養していただくようお願いいたします。昨年度に引き続き、感染症と同様の症状がある場合は、欠席扱いにはなりません。

